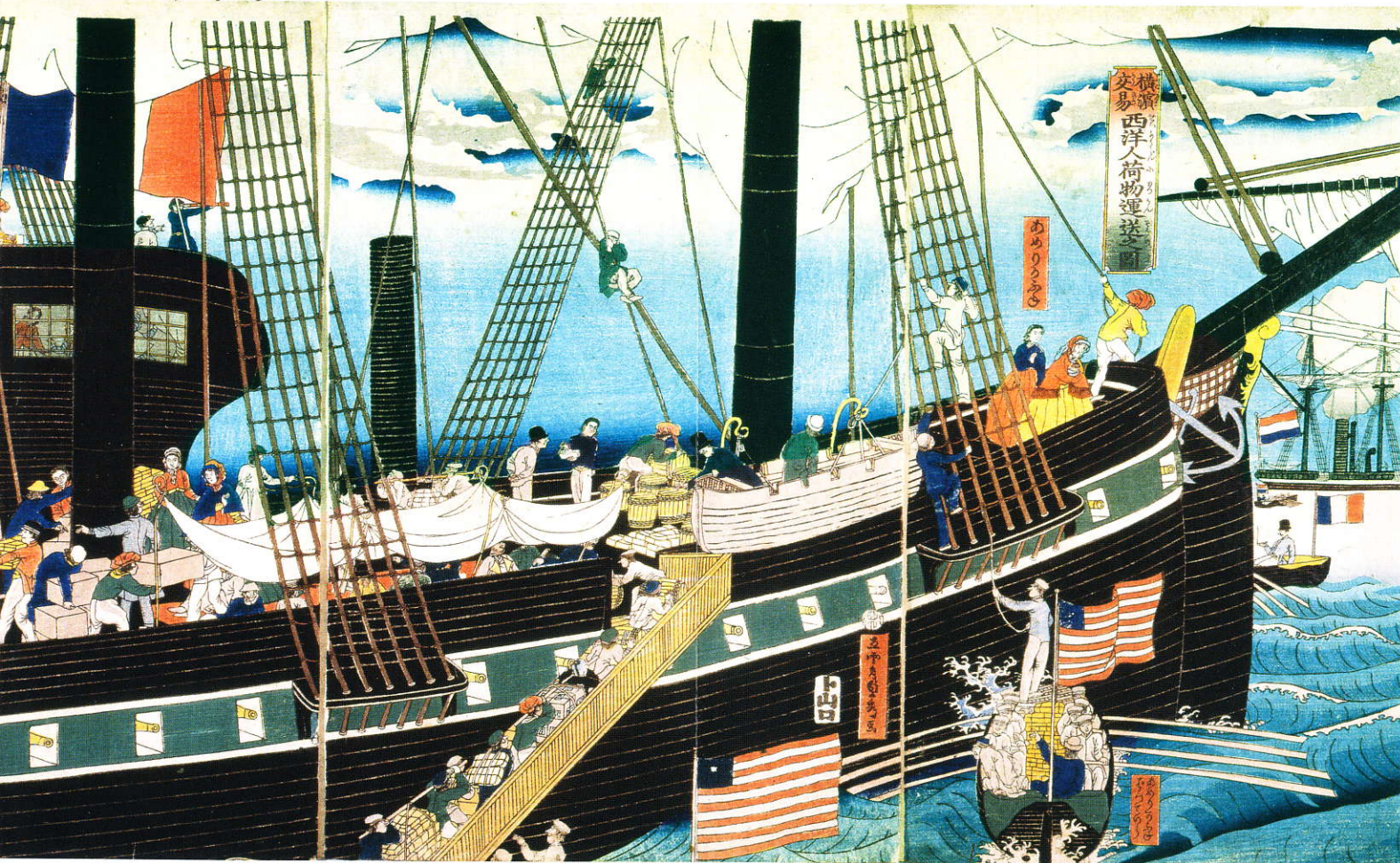


港には外国人がいっぱい
いるぞ。どこからきたのかなァ

▼開港直後の貿易のにぎわいをえがいた浮世絵。
当時の代表的な絵師・五雲亭貞秀（ごうんてい
いさだひで）が1861（文久元）年にえがいた
もの。

歴史が見える

横浜開港資料館



●見学の料金●

小・中学生100円／一般200円
団体（20人以上）の場合、小・中学生80円／
一般150円

●見学できる時間●

午前9時30分～午後5時
（入館は午後4時30分まで）

●休みの日●

月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始ほか

●無料の日●

土曜日（小・中・高・専門学校の生徒）
●身体障害者手帳、愛の手帳（療育手
帳）、精神障害者保健福祉手帳をお持ち
の方と介護者は無料です。入館の際に手
帳をご提示ください。

【交通】みなとみらい線日本大通り駅
③番出口から徒歩2分。JR関内駅南口・
市営地下鉄関内駅下車徒歩15分また
は、JR桜木町駅から市営バス「日本大通
り駅県庁前」・「大さん橋」下車徒歩1分

横浜開港資料館（公財）横浜市ふるさと歴史財団

〒231-0021 横浜市中区日本大通3 ●TEL045 (201) 2100 (代)

ホームページ <http://www.kaikou.city.yokohama.jp/>

2018.6 ④ 4,000



国を開く 港を開く

日本に開国をせまるペリーは、1854(嘉永7)年、艦隊(かんたい)をひきいて横浜にやってきた。その結果、日本とアメリカは国を開く条約(和親条約)や港を開く条約(通商条約)をつぎつぎとむすび、日本は長い鎖国(さこく)をやめて国を開くことになった。そして横浜は開港場となりそれまで100戸ばかりの半農半漁の小さな村は、いっきに国際的な町へ発展していった。

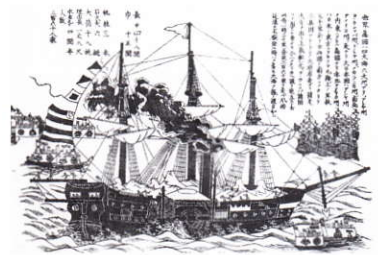


◀横浜開港資料館の中庭にあるたまくすの木は、この図の右はしの木がもとなんだ。1866(慶応2)年の火事や、1923(大正12)年の関東大震災で焼けてしまったけど、再び芽を出して大きくなった。すごい生命力だね。ずっと横浜の歴史を見てきたんだよ。

▼日本に開国をせまったペリーの顔。想像でかいたのかな、ずいぶん違うね。



▼黒船図 ペリー一行が乗って来た船は黒船と呼ばれた蒸気船(じょうきせん)だ。



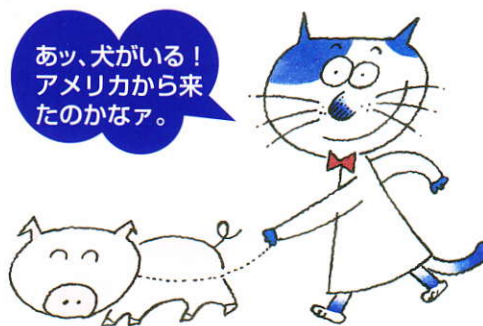
▼1854(嘉永7)年ペリーは500人の武器を持った兵隊をつれて横浜村に上陸した。この絵はいっしょに来た画家がえがいたもの。



▲1859(安政6)年の横浜開港前後の、世界や日本のようすがわかる第1展示室。



▲ペリーが乗ってきた黒船の模型。右がサスケハナ号、左がボーハタン号。



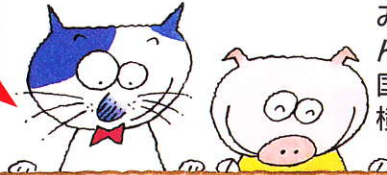
▲資料館のとなりの開港広場にある日米和親条約をむすんだ記念碑(ひ)。



▲明治時代の文明開化のようすがわかる第2展示室。

まちを歩けば歴史が見える！

これが横浜もののはじめマップだ。さあ、まちを歩いて横浜の歴史をさぐってみよう！



港が開かれると、たくさんの外国人が横浜にやってきて、いろいろな西洋の知識や物を伝えた。みんなの好きなアイスクリームをはじめ、石けんや自転車など、西洋文化の多くが横浜から全国に広まっていったのだよ。横浜のまちを歩けば歴史が見える！



横浜開港資料館を探検しよう！

むかし開港場（かいこうじょう）とよばれていた所の中心にあるのが横浜開港資料館。旧館は1931（昭和6）年にたった元イギリス総領事館。ここへくればたくさんの歴史を知ることができるよ。



▶明治時代の水道

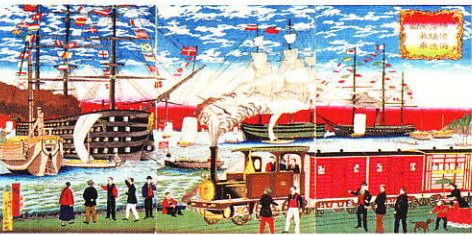


▶薩英戦争記念銘板



▶ガス灯





① 鉄道
1872 (明治5) 年
日本で最初の鉄道は、横浜
駅 (今の桜木町駅)、新橋駅
間を53分で走った。

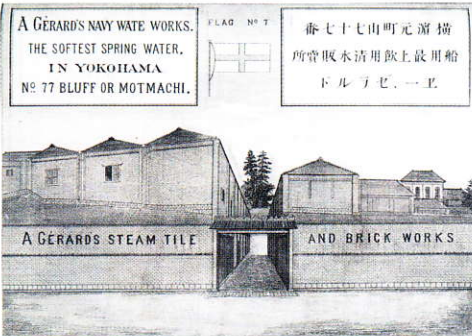


② かねの橋
1869 (明治2) 年
日本で2番目、横浜で最初
の鉄 (かね) の橋・吉田橋は
イギリス人技師・プラント
ンの設計。



③ 生糸貿易
1859 (安政6) 年
開港した横浜港の輸出品の
トップは生糸 (かいと) であ
った。この地位は第2次大
戦の頃まで続いた。

▼生糸のラベル



④ 西洋がわら
1873 (明治6) 年
フランス人ジェラルドは、
現在の元町公園のあたりで、
西洋がわらとレンガを造っ
ていた。

◀西洋がわら



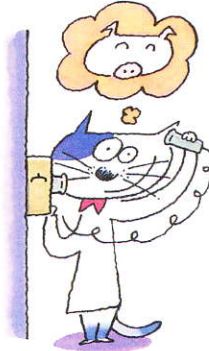
レンガ▶



⑤ ガス灯
1872 (明治5) 年
高島嘉右衛門 (かえもん) は
現在の本町小学校 (中区花
咲町) あたりにガス工場を
つくり、日本最初のガス灯
をともした。左の絵は横浜
郵便局 (現在の中区日本大
通) のガス灯。



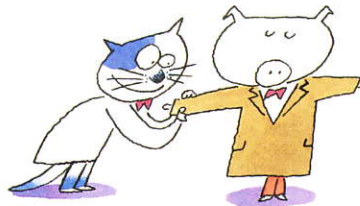
⑥ 電話交換 (こうかん)
1890 (明治23) 年
横浜電話交換所が日本で最初に電話
交換業務を始めた時は、加入者が東
京155人、横浜42人であった。



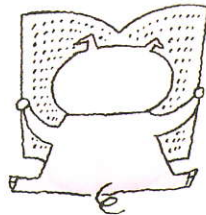
⑧ 和英辞典 1867 (慶応3) 年
医者で宣教師 (せんきょうし) でもあ
るヘボンが、教えるを広げるため日本
最初の本格的な和英辞典をつかった。



⑩ 洋裁業 1863 (文久3) 年
洋服を作って売る洋裁業はピアソン夫
人が中国上海 (シャンハイ) の会社の
横浜支店支配人となったのがはじめ。



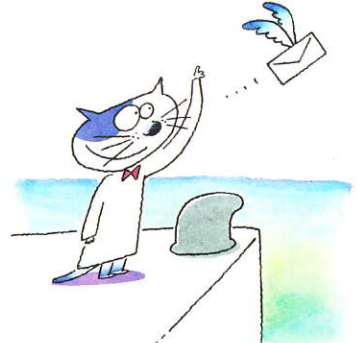
⑫ 日刊日本語新聞
1871年初め (明治3年末)
横浜活版社発行の「横浜毎日新聞」が
日本で最初。主に貿易や商業のニュー
スをのせていた。



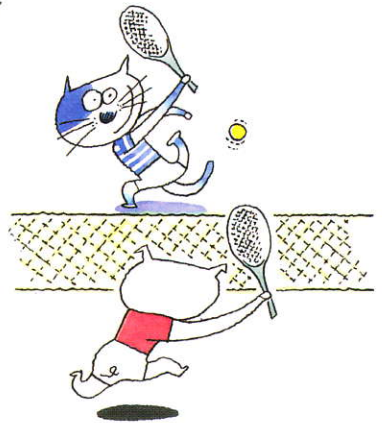
⑦ キリスト教会
1862年初め (文久元年末)
開港後の最初のキリスト教会・横浜
天主堂は現在の中区東門近くに
建てられた。



⑨ 外国郵便 1875 (明治8) 年
最初は外国商社や領事館が手がけ
ていたが、横浜郵便局に一本化され、
正式に外国郵便局としてスタートした。



⑪ テニス 1876 (明治9) 年
居留地 (きょりゅうち) の女性たち
によってクラブが組織され、初め横浜
公園、のち山手公園に専用コート
を持った。



横浜ものはじめは、これ以外にもまだいっぱい
あるのだよ。君じしんで調べてみよう。